

仙台二に女子27人

公立高で推薦入試合格者発表

開校以来初、出願の半数

公立高校の推薦入試合格者発表が七日行われた。二〇〇七年度から男女共学化する仙台二高には、開校以来初の女子合格者が誕生した。女子出願者のちよつと半分に当たる二十七人が、合格倍率三倍に近い狭き門を突破。男子合格者も「男女一緒に二高を盛り上げていこう」と喜びを分かち合った。

(25面に関連記事)

同校には午後四時の発表前から、受験生が続々と集まった。吹奏楽部の生徒がファンファーレを鳴らす中、合格者六十六人の受験番号掲示が始まり、自分の番号を見つけると、合格者は家族と手を取り合つて喜んだ。



自分の受験番号を見つけ、喜ぶ女子受験生(仙台二高)

仙台市寺岡中の千須和枝(千子)さんは「本当につらい。多くのことに挑戦して知識を付け、運動もして自分を磨きたい」、高城教育大付属中の米田まりなさん(三)は「試験は自信がなかったので、合格できて驚いている。大学進学に向けて頑張る」と満面の笑み。

共学化の影響で、出願者は前年度比五十六人増加の百八十人。合格倍率は県内最高の二・七三倍の難関となった。男子合格者の仙台市上杉山中、吉田惇君(五)は「倍率は予想以上だった」と語った。

同校共学化をめぐる背景には、同校会の反対などを

したが、在校生は胸上げや部活動勧誘を行い、熱烈に歓迎。吹奏楽部で一年生の加藤文晴君(二)は「共学化すれば女子入部者も期待できる。男女で新しい歴史をつくってほしい」と目を細めた。柏葉浩明校長は「女子一期生に挑戦した生徒は、強い意志を持って受験したと思う。敬意を表したい」と話した。

320% (20% 増加 66人)
70% 30% 4

